

後期高齢者ではなく、好機好齢者が目標

吉田 豊

もう4年になるがこんなことが出来る体力や環境に感謝している。

*目標は「好機好齢者」

数年前から、団地内を流れる川にかかる橋（約15m）の除草と清掃をしている。

夏になると子どもたちの通学路でもある橋は草ぼうぼうになる。

子どもたちは、草をかき分け通学している感じだ。

仕事をしていた頃は、除草したいと思っても毎日忙しかった。

退職して時間が出来た時、近くの公園を清掃するボランティアの姿に励まされ、少し勇気を出した。1人で橋の除草と清掃を始めた。

最初は気恥ずかしかった。でも誰かがやらなければ、草ぼうぼうになる。反応は様々だ。通り過ぎる人もいれば、会釈をする人もいる。「ご苦労さま」「きれいになりますね」と声を掛けてくれる人もいる。

理由を聞かれれば、「昔から気になっていた。時間が出来たので取り組んでいる」と答える。コミュニケーションのきっかけになり、短い会話も生まれる。

作業が終わり、雑草やゴミのない橋を見ると、気持ちがスッキリする。

気になることをいつまでもやらないと健康に良くない。

今年は後期高齢者の80歳、続けられる体力と周囲の好意の目に感謝する。

自分も社会を広く見られるようになった気がする。

*この歳になると生きられている今が好齢、好いこともあり、好い機会もある。

と思っている。